

授業科目名	精神保健看護Ⅰ			担当教員	高橋 清美
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (2)
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	生涯にわたるパーソナリティーの発達と各ライフステージにおける精神的危機に対する保健看護の役割を学ぶとともに、メンタルアセスメントの枠組みとなる理論と技法について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健看護の意義、役割と機能について理解できる。 2. 精神保健看護学の対象であるこころの健康、こころの発達について理解できる。 3. 精神の健康に影響する因子を理解し、精神の健康保持・増進への援助の必要性を理解できる。 4. 精神の健康保持増進のための看護援助方法について理解できる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	精神の健康、こころの発達	講義	予習) 教科書Ⅰの第1章を通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
2	精神看護の考え方	講義	予習) 教科書Ⅱの第1章を通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
3	治療の場における看護援助	講義	予習) 教科書Ⅱの第4章を通読すること	予習：1時間 復習：1時間	ゲストスピーカー
4	精神保健医療の歴史	講義	予習) 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
5	精神保健福祉と法制度	講義	予習) 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
6	障害者と権利擁護	講義	予習) 教科書Ⅰの第3章(社会復帰・社会参加の項)、第4章の該当ページを通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
7	教育の場におけるこころの健康	講義・演習	予習) 文部科学省HPで児童・生徒・学生の心の健康に関し、自己の関心テーマを検索し、授業当日に持参すること。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋
8	職場における精神保健	講義・演習	予習) 厚生労働省HPで職場における心の健康問題に関し、自己の関心テーマを検索し、授業当日に持参すること。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること	予習：1時間 復習：1時間	高橋

9	地域社会とこころの健康	講義	予習) 教科書 I の第 6 章を通読すること	予習： 1 時間 復習： 1 時間	高橋
10	精神保健医療に関する社会資源	講義	予習1) 教科書 I の第 3 章を通読すること	予習： 1 時間 復習： 1 時間	高橋
11	リエゾン精神看護	講義	予習) 教科書 I の第 2 章を通読すること	予習： 1 時間 復習： 1 時間	高橋
12	精神看護援助の基本 患者—看護師関係	講義	予習1) 教科書 II の第 1 章を通読すること 予習2) はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション, p70-71 を通読すること	予習： 30 分 復習： 1 時間	高橋
13	精神看護援助の基本 セルフケア理論による看護援助	講義	予習) 教科書 II の第 1 章該当ページを通読すること	予習： 30 分 復習： 1 時間	高橋
14	精神看護援助の基本 生きる力と強さへの支援	講義	予習) 教科書 II の第 1 章該当ページを通読すること	予習： 30 分 復習： 1 時間	高橋
15	精神保健看護 I の統括 定期試験フィードバック	講義	復習) 全体の見直しを図る	復習： 1 時間	高橋
先行履修 科目					
テキスト	吉松和哉 他 著：第 6 版 精神看護学 I 精神保健学. ヌーヴェルヒロカワ, 2015. 川野雅資 他 著：第 6 版 精神看護学 II 精神臨床看護学. ヌーヴェルヒロカワ, 2015. 高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション. へるす出版, 2014. 野村 総一郎 他 編集：標準精神医学 第 6 版. 医学書院, 2015.				
参考文献	Erikson, E.H. : The Life Cycle Completed. 1982, 村瀬孝雄・近藤邦夫訳：ライフサイクル、その完結. みすず書房, 1989. 野中猛 監修：看護に必要な精神保健制度ガイド. 中山書店, 2008. 野末聖香 編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために. 医歯薬出版, 2004.				
メッセージ	講義終了後は、必ず 1 時間は復習を行い、学習ノートに学びをまとめてください。 第 12 講のときのみ、「高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション, へるす出版, 2014.」を持参してください。				
科目の 位置づけ	本科目は、先行履修科目を礎に、精神保健看護 II へとつながっていく位置づけにある。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	◎	○			
評価方法	授業参加度 (10%)、第 7, 8 講義で持参した資料は授業終了後に提出し授業への参加度として評価 (5% + 5%)、定期試験 (80%) とする。				